

事業計画書

令和4年度においても、コロナウィルス感染症予防等の対応のため、入所者の補充の対応遅れなどによる収入の減少や、世界情勢の混迷に伴う燃料、食材費その他諸物価など先の見えない上昇、また設備の老朽化による修繕費用の増加、職員の待遇改善など運営面において更に厳しさが増してきている状況にあります。

職員の待遇改善は介護職員処遇改善加算等を活用しながら図っている処ですが、介護報酬が主な特別養護老人ホームと、介護報酬の収入割合が35%の養護老人ホームでは改善に開きがありながらも体制の拡充などに考慮し、特養・養護間の十分な連携をとりながら健全な運営を図ってまいります。

行事などの事業についてはコロナ過の状況を考慮し、また利用者様の高齢化や加齢に伴う体力の衰えなどに対応しながら実施してまいります。

本年度においても経営理念や基本方針を念頭にご利用者様へのサービス体制を維持しながら、前年度の事業等の反省・見直しを行いながら経費節減に努めてまいります。

1 事業計画

法人は、次の事項等によって事業を推進していきます。

(1) 運営する事業及び運営方針

ア、養護老人ホームの運営

① 養護老人ホームちのみの郷

老人福祉法及び法人の掲げた理念に基づき、またはそれに添った運営を行い、利用者が健康で明るく生きがいのある生活ができるよう努めます。

② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業

身体介護又は生活援助のサービスが必要になった利用者様の意向を尊重したサービス計画を立て、それに基づき、日常生活における必要な介護を行ないます。

③ 施設設備の改修計画

平成8年の改築からの経年とともに施設設備の老朽化が進行しているが、急を要する暖房配管の全面改修を令和5年度実施に向け、計画を図ります。

イ、特別養護老人ホームの運営

① 特別養護老人ホームちのみの杜

施設利用者様人格や意思を尊重し、介護福祉の立場に立ったサービスの提供を行い、日常生活が十分に満足していただけるよう努めてまいりますとともに、コロナ対策を徹底し感染予防に努めます。

② ちのみの杜短期入所生活介護事業

要介護利用者様に対し、日常生活が営められるよう、身体介護や生活援助等を行い、利用者様の心身機能の維持並びに御家族の負担の軽減を図れるよう努めると

もに、関係各機関との連携、推進にも配慮してまいります。

- ③ 昭和54年開設以来43年経過し、施設の老朽化は著しい状況であります。財源の枯渇により全面的修繕が不可能なことから、本年度は浴室窓の取替え及び床塗装工事を実施し、利用者様に寒い思いをさせないようにいたします。

(2) 施設等の入所・利用定員

ア、養護老人ホーム

- ① 養護老人ホームちのみの郷 75名 ショートステイ 2名
 ② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業所 34名

イ、特別養護老人ホーム

- ① 特別養護老人ホームちのみの杜 50名
 ② ちのみの杜短期入所生活介護事業所 8名

(3) 施設等の職員の職種・職名及び数

	養護老人ホーム					特別養護老人ホーム					合 計				
	常勤		非 常 勤	派 遣	計	常勤		非 常 勤	派 遣	計	常勤		非 常 勤	派 遣	計
	正 規	嘱 託				正 規	嘱 託				正 規	嘱 託			
施設長		1			1		1			1		2			2
事務長		1			1		1			1		2			2
事務員		1			1		1			1		2			2
生活相談員	3				3	1				1	4				4
介護支援専門員	1				1	1				1	2				2
栄養士	1				1	1				1	2				2
看護職員	3				3	1		1	2	4	4		1	2	7
介護・支援員	14	1	9		24	14	2	4		20	28	3	13		44
介助員			4		4		1			1		1	4		5
調理員		5	1		6		4	1		5		9	2		11
用務員		1			1		1			1		2			2
計	22	10	14		46	18	11	6	2	37	40	21	20	2	83

※数は、4月1日の職員数となります。

(4) 利用者様の生活相談・支援

- ① 利用者様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者様又は家族に対し、適切な相談、助言を行うとともに、必要な支援を今後も行って行

きます。

- ② 養護老人ホームにおいては、利用者様がお互いにいたわり合い、他人に迷惑をかけるなど、思いやりのある人間関係で楽しく充実した生活ができるよう支援します。

また、特別養護老人ホームでは、利用者様がお互いに尊重しあい、毎日が元気で明るく生活できる環境作りに誠意を持って努めます。

- ③ 「自分で出来ることは自分でする。」を生活の基本に、利用者様の適正に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和をはかりながら生きがいを支援します。

(5) 健康管理

- ① 養護老人ホームは健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、その後の軽い歩行訓練の実施、更にリハビリ体操の継続をしていきます。

特別養護老人ホームにおいても、健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、更にリハビリ体操の継続をしていきます。

- ② 週一回の日赤病院医師による往診、毎月の血圧・体重測定、養護老人ホームにおいては年二回の健康診断の実施を行い、利用者様の健康管理を図っていきます。
- ③ うがい・手洗いの励行、毎日の施設内の換気・消毒の実施、インフルエンザの予防接種、更に入浴・洗濯・清掃など衛生面などに配慮した援助を行い、感染症等の予防に努めていきます。

(6) 施設等の行事

- ① 一大行事等（家族へ出欠の周知）

- ・観桜会（5月） 家族会総会の後に行います。
- ・夏まつり（7月） 午後縁日、夕刻ピヤガーデン、近隣2自治会に案内します
※特別養護老人ホームは8月に行い、縁日のみです
- ・敬老会（9月） 式典・祝賀会
100歳記念品 法人、家族会
白寿記念品 法人
米寿記念品 浦河町
喜寿記念品 浦河町

※ その他、新年会なども計画されてます。

- ② 季節に応じた行事

- ・バスハイク（桜、紅葉見学） ・盆、彼岸供養会（年3回） ・かき氷の会
- ・豆まき ・ひな祭り など

- ③ 定期または2ヶ月毎の行事

- ・ショッピング ・大相撲星とり大会 ・ビデオ鑑賞会
- ・クラブ活動（ゲーム、手芸、カラオケなど） など

- ④ 毎月の行事

- ・誕生会 ・散髪・美容室 など

- ⑤ 慰問等の行事

- ・町民吹奏楽団 ・幼稚園 ・老人クラブ ・民謡、踊りなど

⑥ 会議に関する行事

○入所者関係

- ・生活懇談会（毎月）

○施設等関係

- ・年4回 ・全体会議（研修会）
- ・毎月 ・感染症対策委員会 ・身体拘束委員会 ・施設運営会議
- ・入所者処遇会議 ・事故発生防止対策委員 ・給食運営会議
- ・給食会議

※②～⑥までは養護老人ホーム又は特別養護老人ホームそれぞれに行っているもの
行っていないものがあります。

※コロナ禍により行事の縮小、あるいは実施出来ないこともあります。

(7) 防災計画

- ・避難訓練（火災 年2回、自然災害 年2回）
- ・組織 ・自衛消防責任組織（点検、予防に関する業務分担）
- ・自衛消防組織（発生時の業務分担）

(8) 職員研修

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

2 役員運営

(1) 役員の数

理事	7名
評議員	8名
監事	2名

(2) 理事会・評議員会の開催計画

- ・3月下旬 新年度の事業報告書及び収支予算書の審議
- ・6月上旬 前年度の事業報告書及び収支決算書の審議
- ・その他 懸案事項等必要に応じて随時開催

(3) 監事監査の開催計画

- ・定例監査 年3回 8月、11月、2月
- ・決算監査 5月中旬

3 予算の執行

令和4年度の事業の運営（法人本部は除く）は、次によって行います。

・事業活動収支

（単位：千円）

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	483,054	△4,157	253,407	5,219	229,647	△9,376

支出	508,740	19,506	258,098	8,658	250,642	10,848
収支差額	△25,686	△23,663	△4,691	△3,439	△20,995	△20,224

・施設整備等収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	640	320	320	320	320	
支出	1,478	660	1,434	648	704	12
収支差額	△1,158	△340	△1,114	△328	△384	△12

・その他の活動収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入						
支出	6,504	300	880	180	5,624	120
収支差額	△6,504	△300	△880	△180	△5,624	△120

・当期資金収支差額

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	△33,688	△27,303	△6,685	△3,947	△27,003	△20,356

・前期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	65,503	△8,440	20,662	14,618	44,841	△23,058

・当期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	31,815	△32,743	13,977	10,671	17,838	△43,414

※法人本部の部分は含まれていません。

以上の予算を以って執行いたします。

内訳等は、予算書のとおりとなっています。

資金収支予算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		本年予算額 (A)	前年予算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	309,860	319,103	△ 9,243	
		老人福祉事業収入	163,557	159,254	4,303	
		経常経費寄附金収入	200	200		
		借入金利息補助金収入				
		受取利息配当金収入		11	△ 11	
		その他の収入	9,437	8,643	794	
	事業活動収入 計 (1)		483,054	487,211	△ 4,157	
	支出	人件費支出	348,506	337,552	10,954	
		事業費支出	120,476	114,268	6,208	
		事務費支出	40,880	38,446	2,434	
支払利息支出		366	284	82		
事業活動支出 計 (2)		510,228	490,550	19,678		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 27,174	△ 3,339	△ 23,835		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	640	320	320	
		施設整備等寄附金収入				
		施設整備等収入 計 (4)	640	320	320	
	支出	固定資産取得支出	1,408	692	716	
		固定資産除却・廃棄支出				
		ファイナンス・リース債務の返済支出	730	786	△ 56	
施設整備等支出 計 (5)		2,138	1,478	660		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,498	△ 1,158	△ 340		
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入				
		積立資産取崩収入				
		その他の活動収入 計 (7)				
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	5,004	5,004		
		積立資産支出	200	200		
		その他の活動支出 計 (8)	5,204	5,204		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 5,204	△ 5,204			
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△ 33,876	△ 9,701	△ 24,175		
前期末支払資金残高 (11)		65,794	74,268	△ 8,474		
当期末支払資金残高 (10)+(11)		31,918	64,567	△ 32,649		

社会福祉事業区分 資金収支予算内訳表
(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		法人本部 拠点	養護老人 ホームちの みの郷拠点	特別養護老 人ホームちの みの杜拠点	合計	内部取引 消去	事業区分 合計
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入		89,550	220,310	309,860		309,860
	老人福祉事業収入		163,417	140	163,557		163,557
	経常経費寄附金収入		100	100	200		200
	借入金利息補助金収入						
	受取利息配当金収入						
	その他の収入		340	9,097	9,437		9,437
	事業活動収入 計 (1)		253,407	229,647	483,054		483,054
	支出						
	人件費支出	480	171,509	176,517	348,506		348,506
事業費支出		69,827	50,649	120,476		120,476	
事務費支出	1,008	16,620	23,252	40,880		40,880	
支払利息支出		142	224	366		366	
事業活動支出 計 (2)	1,488	258,098	250,642	510,228		510,228	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 1,488	△ 4,691	△ 20,995	△ 27,174		△ 27,174	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等補助金収入		320	320	640		640
	施設整備等寄附金収入						
	施設整備等収入 計 (4)		320	320	640		640
	支出						
	固定資産取得支出		704	704	1,408		1,408
固定資産除却・廃棄支出							
ファイナンス・リース債務の返済支出		730		730		730	
施設整備等支出 計 (5)		1,434	704	2,138		2,138	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		△ 1,114	△ 384	△ 1,498		△ 1,498	
その他の活動による収支	収入						
	長期運営資金借入金収入						
	積立資産取崩収入						
	拠点区分間繰入金収入	1,300			1,300	1,300	
	その他の活動収入 計 (7)	1,300			1,300	1,300	
	支出						
	長期運営資金借入金元金償還支出			5,004	5,004		5,004
	積立資産支出		100	100	200		200
拠点区分間繰入金支出		780	520	1,300	1,300		
その他の活動支出 計 (8)		880	5,624	6,504	1,300	5,204	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	1,300	△ 880	△ 5,624	△ 5,204		△ 5,204	
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)	△ 188	△ 6,685	△ 27,003	△ 33,876		△ 33,876	
前期末支払資金残高 (11)	291	20,662	44,841	65,794		65,794	
当期末支払資金残高 (10) + (11)	103	13,977	17,838	31,918		31,918	